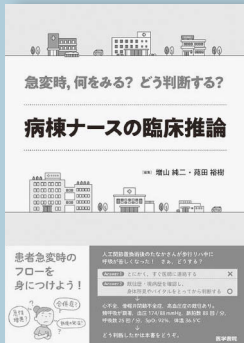


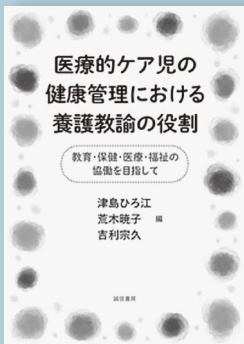
今月の 新刊紹介



《シリーズ ケアをひらく》 急変時、何をみる？ どう判断する？ 病棟ナースの臨床推論

編：増山純二，苑田裕樹
発行：医学書院
定価：2970 円（本体 2700 円＋税 10%）
B5 判 180 ページ

本書では、急変対応の基礎の看護アセスメント、呼吸、循環、脳神経のフィジカルアセスメント、問診、身体所見のポイントについて解説する。さらに、事例の患者急変対応フローチャートに沿って、患者の急変を疑似体験しながら理解を深める書。



医療的ケア児の健康管理における養護教諭の役割 教育・保健・医療・福祉の 協働を目指して

編：津島ひろ江，荒木暁子，吉利宗久
発行：誠信書房
定価：2200 円（本体 2000 円＋税 10%）
A5 判 159 ページ

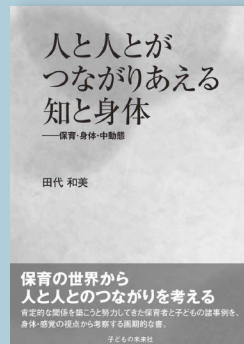
医療的ケア児支援法が制定され、インクルーシブ教育の体制整備が進められ、医療的ケア児に対する養護教諭の役割や他職種との連携が重要になっている。医療的ケア児に関連した法制度や包括的支援、医療的ケア看護職員の役割、家族の支援など幅広く解説する。



《シリーズ ケアをひらく》 わたしが誰かわからない ヤングケアラーを探す旅

著：中村佑子
発行：医学書院
定価：2200 円（本体 2000 円＋税 10%）
A5 判 232 ページ

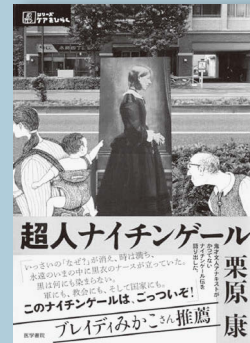
ヤングケアラーという言葉でくられることによって見えなくなってしまう、1 人ひとりの多様な個の在り方に近づきたい。そんな思いで始まった取材はいつのまにか、同じくヤングケアラーであった自らの記憶をたぐりよせる旅に変わっていた。その旅の記録。



人と人がつながりあえる 知と身体 保育・身体・中動態

著：田代和美
発行：子どもの未来社
定価：1540 円（本体 1400 円＋税 10%）
A5 判 128 ページ

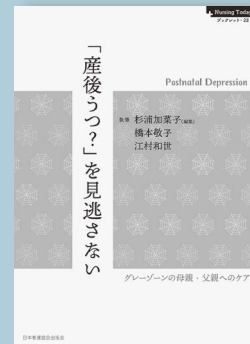
子どもと保育者がつながり合えた実感できたとき、その背景には、子どもの変化と、保育者がその子と肯定的な関係を築こうと努力したプロセスがある。子どもと信頼し合える保育の在り方を、現象学的手法を用いて事例とともに考察した 1 冊。



《シリーズ ケアをひらく》 超人ナイチンゲール

著：栗原康
発行：医学書院
定価：2200 円（本体 2000 円＋税 10%）
A5 判 272 ページ

著者は、ナイチンゲールがクリミアに赴く前に書いた自伝的小説『カサンドラ』で彼女と出会った。その人は聖女でも合理主義者でもなく、ぶっとんでいて近代的個人の在り方をやすやすと超える人だった。鬼才文人アナキストが、誰も知らなかったナイチンゲール伝を語り出す。



「産後うつ？」を見逃さない グレーゾーンの母親・父親へのケア

編：杉浦加菜子
著：橋本敬子，江村和世
発行：日本看護協会出版会
定価：1100 円（本体 1000 円＋税 10%）
A5 判 64 ページ

妊娠、出産、育児をきっかけに精神的不安定さを抱えているにもかかわらず、支援が届かない母親や父親がいる。本書では、産後うつ未満といわれるグレーゾーンの母親と父親の実態や支援が届きにくい現状を紹介し、支援の在り方を思考する。